

グリーン市場拡大のためのグリーン購入大賞（第18回） 審査結果発表

2017年11月9日

グリーン購入ネットワーク（事務局：東京都中央区 会長：平尾雅彦）では、グリーン購入に関する優れた取り組みを表彰する「グリーン市場拡大のためのグリーン購入大賞（第18回）」の受賞団体を以下のとおり決定いたしました。

なお、表彰式は12月7日（木）10:10より、エコプロ2017（東京ビッグサイト）のイベントステージにて、開催いたします。

大賞・環境大臣賞	日本生命保険相互会社
大賞・経済産業大臣賞	YKK AP株式会社
大賞・農林水産大臣賞	株式会社ローソン

■第18回受賞団体一覧

賞	受賞団体	タイトル（応募テーマ）
大賞・環境大臣賞	日本生命保険相互会社	グリーンな金融市場の拡大への貢献 ～生命保険業を行う事業会社と機関投資家としての両面から～（応募テーマ1）
大賞・経済産業大臣賞	YKK AP株式会社	高性能樹脂窓の開発、普及による省エネで健康・快適な住環境づくり（応募テーマ3）
大賞・農林水産大臣賞	株式会社ローソン	ローソンファームを活用した「持続可能な農作物生産」と「流通革命」（応募テーマ3）
大賞	味の素株式会社	本社、国内営業拠点で使用する全電力のグリーン化（応募テーマ1）
大賞	NPO 法人ごみじゃぱん	無理せず簡単にできるエコ「減装（へらそう）ショッピング」の推進（応募テーマ2）
優秀賞	富士ゼロックス株式会社	責任ある用紙調達によるグリーン市場拡大への貢献（応募テーマ1）
優秀賞	株式会社タカラトミー	100ねんあそぼ。～子どもたちへ「エコトイ」で広げるグリーン購入、深める環境教育～（応募テーマ2）
優秀賞	株式会社ヨコタ東北	未来の子供たちのために～気づいたら参加していたグリーン購入～（応募テーマ3）
優秀賞	富士通株式会社	環境配慮型製品・サービスの拡大による「脱炭素社会」への貢献（応募テーマ3）
グリーン購入推進 自治体特別賞	猿払村（北海道）、仙台市（宮城県）、東根市（山形県）、多治見市（岐阜県）、長崎市（長崎県）	

■応募テーマ

1. 購入活動を通じてグリーン市場の拡大に貢献した取り組み
2. 環境コミュニケーション・人材育成を通じてグリーン市場の拡大に貢献した取り組み
3. 環境配慮型製品・サービスの生産活動（製造・販売）を通じてグリーン市場の拡大に貢献した取り組み

■審査方法・審査結果について

5月15日～7月28日の募集期間に応募のあった24件の中から書類による1次審査(8月29日)、プレゼンテーションによる本審査(9月29日)を行いました。

グリーン購入大賞「大賞」は応募テーマ1:日本生命保険相互会社、味の素株式会社、応募テーマ2:NPO法人ごみじゃぱん、応募テーマ3:YKK AP株式会社、株式会社ローソンの5団体、「優秀賞」は応募テーマ1:富士ゼロックス株式会社、応募テーマ2:株式会社タカラトミー、応募テーマ3:株式会社ヨコタ東北、富士通株式会社の4団体に決定いたしました。

「環境大臣賞」は日本生命保険相互会社、「経済産業大臣賞」はYKK AP株式会社、「農林水産大臣賞」は株式会社ローソンへの授与が決まりました。

■審査総評について

グリーン購入大賞は2016年度に1度休止し、応募テーマ、審査方法、表彰部門等を見直し、名称を新たに「グリーン市場拡大のためのグリーン購入大賞(第18回)」として、2017年5月よりグリーン市場の拡大と発展に寄与していること、グリーン購入に取り組む組織や人を増やしている取り組みを募集しました。

今回、3つの応募テーマに対して、全国から24件のご応募をいただきました。いずれも独自性があり、水準の高い内容でした。第18回では、環境配慮プロジェクトへの投資(グリーンボンド)やグリーン電力の購入等、国内で広がりつつある取り組みや、容器包装ゴミ削減のためのメーカーとの連携と消費者への訴求、上流にいるサプライヤーとタグを組んだ環境配慮型製品の生産活動と市場への供給等、領域の拡大と実践を感じられる応募が多くありました。また、グリーン購入活動や生産活動を通じて地域の課題解決に取り組む中小企業や団体等からもたくさんの応募があり、グリーン購入は、さまざまな事業活動・地域活動の中で実践できることを示していただきました。

■グリーン購入推進自治体特別賞(新設)

今年度、グリーン購入大賞の実施にあたり、優れた取り組みを行っている地方公共団体を表彰するために「グリーン購入推進自治体特別賞」を設けることと致しました。

「グリーン購入推進自治体特別賞」は、環境省が運営する「グリーン購入取組事例データベース」の掲載情報(調達方針の有無、組織的に取り組む分野数、8割以上グリーン購入している分野数)を基にGPNが独自に評価し、全国1,788団体の中から最上位の団体(満点を獲得した団体)を表彰するものになります。

■表彰式について

【表彰式】2017年12月7日(木)10:10～11:10 エコプロ2017 東5ホール イベントステージにて
会場:東京ビッグサイト(東京都江東区有明3丁目11-1)

■グリーン購入大賞とは

環境に配慮した製品やサービスを環境負荷低減に努める事業者から優先的に購入する「グリーン購入」の普及・拡大に取り組む団体を表彰する制度です。グリーン購入の普及に関する先進事例を表彰し、一層の取り組みを奨励するとともに、先進事例の紹介を通じてグリーン購入の普及と質的向上を図ることを目的としています。1998年に創設され、今年度は第18回となります。

■主催:グリーン購入ネットワーク(GPN)

■後援:環境省、経済産業省、農林水産省、日本経済団体連合会、WWFジャパン、読売新聞社、毎日新聞社、日刊工業新聞社、日経BP社、東洋経済新報社

■グリーン購入ネットワーク(GPN)

グリーン購入を促進するために、1996年2月に設立された、企業・行政・民間団体などによる緩やかなネットワーク組織です。グリーン購入の普及啓発活動や、商品分野ごとの購入ガイドラインの策定、商品の環境情報を掲載したデータベースの運営などを行っています。2017年9月時点の会員数は合計1,456団体(企業1,205、行政120、民間団体131)です。ホームページ:<http://www.gpn.jp/>

グリーン購入大賞 「大賞」・「大臣賞」 受賞団体の取り組み概要について

○大賞・環境大臣賞 日本生命保険相互会社（応募テーマ1）

「グリーンな金融市場の拡大への貢献 ～生命保険業を行う事業会社と機関投資家としての両面から～」

【取組概要】

社会性・公共性の高い生命保険事業を行う日本生命は、創業時より「共存共栄」「相互扶助」の精神に基づく経営を掲げており、従来から地域社会と共生しながら地球環境保護に取り組むことを重視してきました。保険料を運用する機関投資家として、融資において、環境配慮型融資制度を業界で初めて導入。有価証券投資においては、国内外のグリーンボンドへの投資を行うなど、継続的な投資の結果、足元までに累計投資額は約1,000億円となっています。また、国内最大級の機関投資家として、グリーンボンド等のESG債等への投融資額を公表しており、グリーン市場の拡大に向け、発行体へグリーンボンド発行について働きかけを行っています。

【評価ポイント】

環境配慮型融資制度の導入やグリーンボンドへの投資は、機関投資家としての「購入」活動である。これまでの投資実績に加え、投資目標額の公表やグリーンボンド発行の働きかけは、環境配慮型製品・サービスの普及拡大にも寄与するもので、グリーン市場拡大への貢献は高く評価できる。

○大賞・経済産業大臣賞 YKK AP株式会社（応募テーマ3）

「高性能樹脂窓の開発、普及による省エネで健康・快適な住環境づくり」

【取組概要】

YKK APは、生活者視点でのモノづくりにこだわり、家庭やオフィスのエネルギー削減に向けて遮熱、断熱、通風など省エネ機能を高めた商品を積極的に開発し、地球環境にも優しい快適な住環境の創出を目指しています。YKK APは、生活者のグリーン購入推進に繋げるべく、2012年度からビルダー、設計事務所に対し、高性能樹脂窓の認知、普及・啓発と健康に配慮した住まい方を伝える「APWフォーラム」を開催するとともに、省エネで健康・快適な住環境づくりへの認知を高めるために、冊子「マドコト」での伝達や「MADOショップ」を通じた窓リフォーム提案等、生活者とのコミュニケーションに力を入れています。

【評価ポイント】

CO2の排出量が課題となっている家庭部門の対策として高性能樹脂窓の開発とともに、その有効性の認知を高めるために施工業者や生活者とのコミュニケーションに力を入れていることは、グリーン市場拡大の大きな牽引力となる。

○大賞・農林水産大臣賞 株式会社ローソン（応募テーマ3）

「ローソンファームを活用した「持続可能な農作物生産」と「流通改革」」

【取組概要】

ローソンは、全国に展開する23の専用農場「ローソンファーム」を軸に、先進的な仕組みづくりとその拡大を図っています。例えば、ほぼすべての農場で「中嶋農法」や「JGAP認証」の取得・実践をしており、安心安全で環境に配慮した持続可能な商品の提供と訴求を行っています。また、「ローソンファーム」と野菜加工場の併設を進めています。これは、生産者⇒配送費がかからない、加工者⇒鮮度が良く加工歩留まり改善、販売者⇒流通時間が短く店舗での廃棄が減少、消費者⇒フードマイレージの少ないより新鮮な商品を購入できる、というメリットのある仕組みです。ローソンはこれからも「持続可能な農産物生産」とさらなる「流通改革」を進めていきます。

【評価ポイント】

環境に配慮した施肥による栽培や生産・加工・販売の一体的な取組を初め、規格外品及び加工時に発生する端材の有効活用の実践も行われており、環境への負荷の削減に向けたこれらの取組の訴求は消費者へのグリーン購入の普及にも寄与している。

○大賞 味の素株式会社（応募テーマ1）

「本社、国内営業拠点で使用する全電力のグリーン化」

【取組概要】

味の素は、中期経営計画の「環境長期目標」の一つに掲げた「再生可能エネルギー比率」の拡大に向け、基幹商品である「味の素」の主原料の一つであるサトウキビの搾りかすを利用したバイオマス発電由来の「グリーン電力証書」を取得し、本社、国内営業拠点で使用するすべての電力を「グリーン化」しました。

【評価ポイント】

本社に加え、国内の全ての営業拠点を包含し、電力のグリーン購入に積極的に取り組んでいる。関係会社にまで波及しつつあり、水平展開のノウハウは他の企業や団体が参考にできる好事例である。

○大賞 NPO 法人ごみじゃぱん（応募テーマ2）

「無理せず簡単にできるエコ「減装（へらそう）ショッピング」の推進」

【取組概要】

容器包装ごみを少なくするために、フィルムを製造する企業との共同企画から、山崎製パン株式会社へ軽量化を提案し、容器包装の軽量化を実現。「持続可能なエコ活動」をテーマに、メーカー・小売等の企業だけでなく行政とも連携し、減装ショッピングを通じたグリーン購入の普及に努めている。

【評価ポイント】

消費者の声から、包装重量を削減した「減装商品（へらそうしょうひん）」の共同開発・PR につながり、その減装商品が購入促進とごみ削減に貢献する好循環の事例。対象商品や店舗の拡大がさらに期待される。

グリーン購入大賞 「優秀賞」 受賞団体の取り組み概要について

○優秀賞 富士ゼロックス株式会社（応募テーマ1）

「責任ある用紙調達によるグリーン市場拡大への貢献」

【取組概要】

お客様に販売する用紙と自社内で利用する用紙を調達する上で、「用紙に対する調達基準」と「調達先企業に対する取引基準」に基づき、現地監査や環境管掌役員を議長とする会議体での確認等を行い、森林資源の持続性や地域社会との調和を図った用紙の安定調達を実施しています。

【評価ポイント】

用紙に対する調達基準に加え調達先企業に対する取引基準を策定し、国内外の関連企業や調達先企業を巻き込み、顧客も含めた用紙のグリーン購入が高い次元で取り組んでいる。

○優秀賞 株式会社タカトミー（応募テーマ2）

「100ねんあそび。～子どもたちへ「エコトイ」で広げるグリーン購入、深める環境教育～」

【取組概要】

タカトミーは、「100ねんあそび。」を合言葉に、次代を担う子どもたちにとって最も身近な“おもちゃ”を通じて、子どもたちの環境への気づきをお手伝いすることを目的に「エコトイ」活動展開しています。6年間で対象商品を約170種類に拡大しながら、意識や行動につなげ、グリーンコンシューマーを育てる環境教育を実践しています。

【評価ポイント】

出張授業プログラムにおいて、学校との授業内容の事前相談、反応の把握、課題抽出から改善につなげる仕組みは環境教育を実施する多くの団体に参考となる。

○優秀賞 株式会社ヨコタ東北（応募テーマ3）

「未来の子供たちのために～気づいたら参加していたグリーン購入～」

【取組概要】

P&P リ・リパック容器は水を使わずフィルムをはがしてリサイクルできる容器で、全国12ヶ所の福祉施設と行政が連携し、容器の回収から原料化まで実施しています。使用後の回収された容器はペレット化され、エコマーク付き容器として生まれ変わります。

【評価ポイント】

「気づいたら参加していた」というコンセプトが特徴的で、グリーン購入による廃棄物削減と障がい者就労支援を両立させた優れたビジネスモデルである。

○優秀賞 富士通株式会社（応募テーマ3）

「環境配慮型製品・サービスの拡大による「脱炭素社会」への貢献」

【取組概要】

富士通は、環境行動計画のもと、環境配慮型製品やICTサービスの提供を通じ、お客様や社会のGHG排出の削減など環境・社会課題の解決への貢献とともに、データセンターのエネルギー効率改善をはじめとした事業所におけるGHG排出量の削減に取り組んでおります。

【評価ポイント】

「環境貢献ソリューション」の認定化など、実績について大いに評価できる。顧客や社会のグリーン化がさらに促進されるよう、環境配慮型製品・サービスの拡充と今後の継続的な実践が期待される。